

派遣留学生帰国報告書

* 帰国(復学)後の情報を入力してください

記入日	2019/7/3
所属学部・ 研究科・学府	法政経学部
所属学科・専攻	法政経学科

1. 留学先について

留学先大学名	清華大学								
留学先所属学部等	法学院								
留学期間	出発日	2018/9/10	入学日	2018/9/17	修了日	2019/7/15	帰国日	2019/6/26	
住居	○ 大学(紹介)の寮・アパート		民間アパート		その他()				
	通学時間						○	On campus	
	通学方法	自転車							
	居室スペース	○	個室	()	人部屋	その他()			
	共有スペース	○	完全個室	キッチン	○	トイレ	○	バス	リビング
食事	自炊	0 %	学食	90 %	外食	10 %	その他	() %	
保険	海外旅行保険(名称)	火災保険特約							
	派遣先大学指定の保険(名称)	Lianhua international insurance					<input checked="" type="checkbox"/>	強制加入	
	その他	クレジットカード付帯保険							
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)								
	羽田 ⇄		北京(飛行機)			⇄			

2. 留学にかかった費用について

総費用	90万 円								
出どころ									
自費	貯金	円	アルバイト	円	その他	円			
援助	○	両親	10万 円	家族・親戚	円	その他	円		
奨学金	JASSO	円	○	その他名称(トビタテ)	円	111万 円			
その他	千葉大学助成金	円	その他()	円					

2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input type="radio"/>	現金	45万 円	その他()	円
留学中		海外送金	キャッシング	その他()	

2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	クレジットカード
住居にかかった費用	クレジットカード
その他	

2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			8.0万	円
海外旅行保険	CNY	800	1.3万	円
OSSMA			2.0万	円
査証・在留許可証	CNY	600	1.0万	円
住居	CNY	24,000	38.4万	円
食費	CNY	15,000	24.0万	円
通学に要する交通費			0	円
教科書、教材費	CNY	300	0.5万	円
その他大学に支払った経費			0	円
光熱費			0	円
その他 (インターネット)	CNY	1,500	2.3万	円
その他 (旅行)			12.0万	円
その他 (交友費)			5.0万	円
その他 ()				円

3. 学業面

履修科目名	種類 ^{ex.正規、聴講}	単位数	単位互換認定申請の有無		
			<input type="radio"/>	有	無
1 日本経済、政治与外交	正規	2	<input type="radio"/>	有	無
2 商法学	正規	3	<input type="radio"/>	有	無
3 漢語口語(3)	正規	4	<input type="radio"/>	有	無
4 漢語精読(3)	正規	4	<input type="radio"/>	有	無
5 漢語精読(4)	正規	4	<input type="radio"/>	有	無

6 民法総論	正規	3		有	○	無
7 外請学者法学考題講座	正規	1		有	○	無
8 国際法	正規	3		有	○	無
9 知識産権法学	正規	3		有	○	無
10				有		無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

履修登録期間:秋学期 9/14-9/28 春学期:2/22-3/4

千葉大学と違う点は履修登録期間が終わっても履修を切る期間が存在すること。これにより成績表に不可がつくことを防ぐことができる。期間は履修登録期間が終わって1週間後と学期末テスト1週間前の各学期計2回ある。

3-2. 授業内容、方法に関して

社会学系学部の授業に関していえば教授の講義を学生が聞くという授業形式だが、大学院の授業は双方向の授業が多い。千葉大学とさほど大きな違いはない。

3-3. 語学力について

現地学生と一緒に受ける授業であれば、HSK6級レベルの中国語能力が最低限無いと厳しい。英語で開講されている授業に関してはTOEFLibt80点くらいあれば理解できる。但し清華大の文系学生はTOEFL100点越えが普通であるのでそれに合わせて授業は作られていると思う。

3-4. 図書館など学内施設について

非常に充実している。大学からでなくても生活できる。図書館は総合図書館があるだけでなく、専門図書館がある。

映画館、劇場、郵便局、銀行、スーパー、携帯電話ショップ、食堂10か所以上、タピオカ屋、パン屋、靴・服修理屋、自転車屋、ジム、プール、テニス・バスケコート各10面以上、バドミントン・卓球専用ドーム、etc.

基本的に全て揃っている。バドミントンコートなどは予約すればいつでも使えるので非常に便利。

3-5. その他

4. 生活面

4-1. 住居について

大学の留学生用寮は一人部屋(CNY80/day)と二人部屋(CNY40/day)がある。Asian Youth Centerという国際寮もあり、ここは一人部屋(CNY120/day)しかないが、中国人学生も同じ建物に住んでいるので交流することができる。値段が高いので寮費が無料の中国政府奨学金生が大半を占める。

私は留学生寮の一人部屋にした。いくつか棟があるが、19号楼にすることを強く強く勧める。設備が一番良いからだ。ほかの棟はマットレスがないことがあるなど問題がある。部屋の詳細についてだが、部屋にはポットくらいしかものがなく、テレビすらない。ハンガーを買うことから生活はスタートするだろう。

4-2. 食生活について

学内には食堂が10か所以上ある。一食5元～20元と安くて美味しい。日本で一人暮らししている大学生は帰国して恋しくなること間違いなしである。ただ、留学したてだと50%の確率で不味い(日本人の口に合わない)ものを引き当ててしまう。一か月もすればどの料理が美味しいのか見分けられるようになる。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

SIMカードは大学生専用プランがあり、年3000円(200元)で月20GB通信200分通話ができる。校内のWiFi・有線環境は悪い。月20GBまで無料で以降は1GB2元で買わなければならない。私はネット使用量が多いのでSIMを2枚契約してデザリングしてパソコンのネット使用量を抑えていた。

4-4. 服装について

北京の冬は-10度まで気温が下がり寒い、冬服を沢山持ってくる必要はあまりない。なぜなら集中暖房がかなり効いており、室内にいるときは初夏くらいの格好で過ごせるからだ。もちろん外出用にダウンは必須。私は日本から持ってきたダウンで耐えられなかったので中国に来てから通販サイト、淘宝で200元くらいにて購入。

4-5. 健康管理について

胃腸炎にかかり、3日間高熱と下痢に苦しんだ。衛生環境が良くない店で火の通っていないものを食べるのは避けるべきである。

4-6. 保険、OSSMAの利用について

自転車が盗まれたときにOSSMAに電話してどこの署に届け出を出せばいいか聞いた。帰国後に保険会社に届け出の控えを使って携行品損害として保険金を請求した。

4-7. 課外活動について

日本より活発ではないもののサークルがある。学期開始一ヶ月後くらいに2日間ほど新歓があり、路上にテントが並ぶ。

私は法学院卓球部と法学院バドミントン部に入ったが活動はそれぞれ週一回だった。現地学生との交流の輪が広がるのでサークルに入ることをおすすめする。現地学生との繋がりや輪が広がる。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

wechatグループにて学外交流会の募集が行われる。主に近隣の大学との交流や日本語学校の生徒との交流会。これも交流の輪が広がるので参加をおすすめしたい。

4-9. 日本から持参してよかったもの

レトルトカレー

たいていの日本食は中国でもレストランで食べられる。しかし日本のカレーだけは売っていない。私はカレー好きではないが半年経つと日本のカレーが恋しくてたまらなくなった。

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

たくさんの冬服

北京は寒いと聞き、たくさん冬服を持ってきたが、室内は集中暖房ががんがんに効いているので厚着は不要。外に出るときはダウンを着る。ということで使わなかった。

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

物事をはっきり言う。日本にいるときのように暗に伝えようとしてもあまり伝わらない。NoはNoと言うべき。しかしあまりにもはっきり相手に言うと気を悪くしてしまうので少しだけオブラートに包んで。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行

中国国内十何か所に旅行に行った。

二週間、三日、四日の計三回旅行をした。

主に鉄道での旅になると思うので鉄道の種類について詳しく説明する。

1、高速鉄道(高铁)。日本の新幹線と同じ。速くて便利だが一番高い。

2、一等寝台(软卧)。二段ベッド四人ずつの個室。個室貸し切りになるので四人で旅行するのがおすすめ。2番目に高い。コンセントと机、ハンガーがある。

3、二等寝台(硬卧)。三段ベッド。起きたら頭がぶつかるので横になってるしかない。駅に着くたび車掌が駅名を叫びながら巡回するので眠りの質は浅い。安い。

4、下等寝台(软座, 硬座)。激安だがただの椅子なので長時間は無理。日本の特急と同じ感じ。猛者はこれで8時間乗るが絶対におすすめしない。

チケットは公式アプリ、「12306」を使って予約する。旅行代理店のサイトでも予約できる。

その他 * 気分転換やストレス発散法など。

5. その他

5-1. 留学先大学について

中国のトップ大学であり、中国人本科生の入試難易度は人口比で計算して東大理三と同じくらいである。そのような大学に留学する利点は、優秀な中国の学生と交流し人脈を広げられること以外にもたくさんある。まず、著名人が沢山公演に来る。私の留学期間中に、トヨタの豊田章男社長が公演にいらっしやり、私個人は豊田社長の運転する車の助手席に乗り、直接お話しすることができた。お隣の北京大学にはハーバードのジョセフ・ナイ教授(清華大学シュワルツマンカレッジ教員)や、安倍首相もいらっしやった。ジョセフ・ナイ教授の公演を聞きに行ったが、非常に有意義な話を聞くことができた。次に、色々なチャンスが降ってくるのが利点として挙げられる。大企業でのインターンの機会や、現地学生から様々なことに誘われる。私は友人の中国人学生から推薦され、中国中央テレビに出演した。チャンスを掴みたい学生は清華大学をお勧めする。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

清華大学は履修選択後に落とすことができるので、多めに履修選択して後から絞る方法を取ると良い。院生向けの授業はタフで課題も重い傾向があるので学部生向けの授業を主にする。学外の交流会に積極的に参加する。前述したように清華大学は東大理三レベルに難しいので学生が偏りすぎている。ずっと学校で過ごしていると視野が狭くなってしまうので、中国の一般学生と交流の場を持つことも重要である。

5-3. 留学を終えて

正直行く前は勉強しかしないつまらない大学なのではないかと心配していたが、すぐに考えを改めることになり、終わりの方ではもう帰りたくないと思った。イベントも山程あり、サークルも楽しく、充実した生活を送れた。

派遣留学は私費留学に比べて清華大学では優遇されており、具体的には寮の優先割当、現地学生と同じ税金による補助の入った割安な食堂価格などがあり、派遣留学で良かったと思った。